ご旅行条件

旅行条件の詳細は「旅行業約款」(募集型企画旅行契約)によります。この旅行は2026年10月1日現在を基準としています。

■旅行契約の解除

参加者が最低実施人数に達しなかった場合は、旅行を中止することがあります。この場合は出発の13日前迄にお知らせします。

＜取消料＞

お客様都合で旅行を取消す場合は、下記の取消料をお支払いいただきます。

＜解除時期・取消料＞　※オプショナルツアーも同様です。

契約の解除期日	取消料
旅行開始日前日から起算して遡って20日前以降	旅行費用の20%
旅行開始日前日から起算して遡って7日前以降	旅行費用の30%
旅行開始日前日	旅行費用の40%
旅行開始日当日	旅行費用の50%
旅行開始後の解除、無連絡不参加	旅行費用の100%

利用予定バス会社

奄美しまバス
道の島交通
徳之島総合陸運株式会社

利用予定航空会社

JAL(日本航空)
またはスカイマーク

ご旅行要項

■旅行代金に含まれるもの

①企画手配料・及び手配料金
②交通費：旅程に明示した航空機(エコノミークラス)、バス代、フェリー代
③宿泊費：下記ホテル又は同等クラスのホテル(弊社基準)
　奄美＝ホテルサンデイズ奄美、ホテルニュー奄美、奄美ポートタワーホテル、
　　ホテルウエストコート奄美Ⅰ・Ⅱ
④食事代(朝3回　昼3回　夕2回)
⑤視察費用：手配料
⑥見学費用：旅程表に明示した市内の見学のガイド料、
　入場料(自由時間は除く)
⑦旅行傷害保険(死亡1,000万円、入院1日当たり6,000円、通院1日当たり4,000円)
⑧添乗員同行の費用：1名　⑨講師謝礼

■旅行代金に含まれないもの

①旅程に記載のない行動をされる場合の宿泊、交通費、食事、及び個人的に購入(お土産、飲食等)したもの
②ご自宅～空港までの交通費
③お一人部屋追加料金(6000円)

■お部屋割りについて(基本2名一室)

基本2名様一室になります。お一人部屋は追加料金(6000円/3泊)が別途必要です。また、相部屋をご希望の場合でもお部屋割りにより一人部屋をご利用いただく場合があります。その際は一人部屋追加料金を承ります。あらかじめご了承ください。

旅行企画・実施　観光庁長官登録旅行業84号　JATA正会員

株式会社 富士国際旅行社

●この旅行に関するお問合せ・お申込みは下記まで

〒231-0062神奈川県横浜市中区桜木町1-1-7
ヒューリックみなとみらい11F-4
総合旅行業務取扱管理者：西須　輝理

TEL：045-212-2101 FAX：045-212-2201
fuji@fits-tyo.com　担当：西須(さいす)・山田・川村・小島

営業時間：月～木曜日／AM10：00～PM6:00
(土日・祝日は休ませていただきます。)
ホームページ：http://www.fits-tyo.com/

①同封の国内企画旅行取引条件説明書面をご確認の上、下記申込書　にご記入いただき、富士国際旅行社宛に郵送・FAXでお送りください。(国内企画旅行取引条件説明書面の同封がない場合は、お申込書が届き次第、旅行社より郵送します。)

②**申込金20,000円**(旅行費用内金)または旅行費用全額を富士国際旅行社宛に下記郵便振替口座へご送金ください。(申込書と申込金の両方の到着をもって正式申込)

郵便振替口座番号　00140-4-39332　加入者名　株式会社　富士国際旅行社

恐れ入りますが、振込手数料は各自ご負担願います。なお、大変恐縮ではございますが、金融機関振込票のお客様控をもって領収書に代えさせていただきますので、ご了承ください。(領収書の郵送が必要な方は弊社までご連絡ください)

③ツアー実施確定しましたら、弊社よりご連絡いたします。

④ご出発の約10日前には出発当日のご案内や日程の詳細などの、ご旅行資料を送付いたします。

き・り・と・り

株式会社　富士国際旅行社　宛

●別紙、取引条件説明書面に記載の旅行条件および旅行手配のために必要な範囲内での運送・宿泊機関等、その他への個人情報の提供について、 同意の上、当旅行に申し込みます。

参加申込書　奄美大島　歴史・文化・交流の旅　4日間

出発日を選択⇒【　□11月17日(火)発　・　□12月25日(金)発　・　□2月16日(火)発　】

ふりがな		性別	旅行出発時年齢	ふりがな		性別	旅行出発時年齢
氏名		男 女	歳	同行ご家族		男 女	歳
生年月日	年　月　日　生			生年月日	年　月　日　生		
住所	(〒　—　)			出発空港	希望空港に○をお付け下さい↓ 羽田・伊丹・関西・中部・その他(　) ※行程表に記載の時刻・ツアー代金は、羽田発着の場合です。羽田以外をご希望の方は、別途、航空便時刻・御料金をご案内いたします。		
電話 FAX 携帯番号 メール	(　) —　— (　) —　— (　) —　— @			参加人数及びお部屋割りについて	□１人部屋(別途追加料金6,000円がかかります) □２名部屋希望：(　)様と同室を希望 □２～３名部屋希望：どなたでもよい(男女別)		
旅行中緊急連絡先	【連絡先名】　(続柄:　) 【住所】 【電話番号】			前泊	各空港周辺の前泊ホテル手配を承っております。 □前泊を希望する　(　空港周辺) ※料金別途ご案内		
ｱﾝｹｰﾄ	今回の企画をどこでお知りになりましたか？○お付け下さい。 弊社HP・いい旅いい仲間・知り合い、家族のご紹介・その他(　)			旅行社への連絡事項	アレルギーがある方、健康状態など旅行社へ連絡事項がある場合、記入下さい。		



奄美大島
歴史・文化・交流の旅

4日間

旅行期間
① 2026年 11月17日(火)～20日(金)
② 2026年 12月25日(金)～28日(月)
③ 2027年　2月16日(火) ～ 2月19日(金)

旅行代金　189,000円

定　員　20名 (最少実施人数10名様)

添乗員　羽田空港より同行します

申込締切
① 2026年10月16日(金)
② 2026年12月4日(金)
③ 2027年　1月15日(金)

※上記は、羽田空港発着の旅行代金です。
羽田空港以外の発着・現地参加ご希望の方はお問合せ下さい。
締切日以降は空席があればご参加可能です。お問合せ下さい。

旅の魅力

- 奄美の戦跡めぐり、現在の自衛隊配備問題について学びます
- 本土と沖縄の影響を受けながらも独自の文化を築いた奄美文化を学びます。
- 奄美の郷土料理や黒糖焼酎を楽しみ、スローライフを味わいます。



※写真は全てイメージです。

企画・実施

株式会社 富士国際旅行社

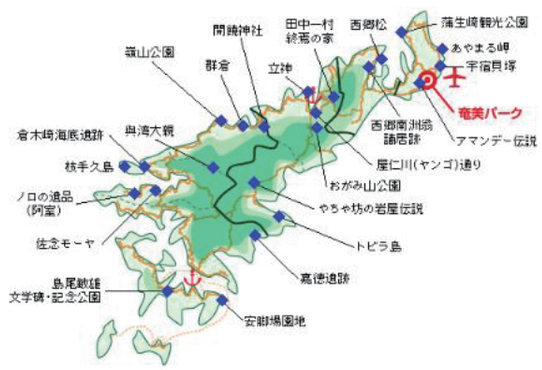
〒231-0062神奈川県横浜市中区桜木町
1-1-7ヒューリックみなとみらい11F-4



日程表　奄美大島　歴史・文化・交流の旅　4日間

	都　市	交通機関	時　刻	行程・食事（朝・昼・夕）
① 11/17 （火）	東京・羽田空港発 奄美大島空港着		午前	空路、直行便または鹿児島経由で奄美大島へ （羽田空港集合：午前7:00～午前10:30集合、3週間前決定）
② 12/25 （金）		航空便 専用車	午後	＜テーマ：奄美の生活・文化を学ぶ＞ 【奄美大島北部見学】 ＊奄美の自然・生活・文化について展示「奄美パーク」 ＊田中一村記念美術館 ＊奄美・龍郷ミュージアム（りゅうがく館） ★夕食：参加者交流会
③ 2/16 （火）	ホ　テ　ル　着		夕刻	奄美大島内泊　朝×　昼×　夕○
① 11/18 （水）	ホ　テ　ル　発		午前	ホテル発、古仁屋地区へ ＜テーマ：戦争の歴史を学ぶ＞ ＊古仁屋周辺の戦跡めぐり 古仁屋港から加計呂麻島の生間港へフェリーで移動（約20分） 加計呂麻島内見学
② 12/26 （土）		専用車	午後	＊安脚場戦跡公園の戦跡めぐり ＊映画「男はつらいよ」撮影地 （第48作寅次郎紅の花）
③ 2/17 （水）	ホ　テ　ル　着	フェリー	夕方	再び生間港からフェリーで古仁屋港へ移動 奄美大島内泊　朝○　昼○　夕○
① 11/19 （木）	ホ　テ　ル　発	フェリー	午前	＜テーマ：現在の問題を学ぶ＞ ＊南西諸島で進む自衛隊配備問題を学ぶフィールドワーク ＊自衛隊配備について地元の方からお話
② 12/27 （日）	ホ　テ　ル　着	専用車	午後	＊黒糖焼酎製造工場 ＊奄美大島紬の体験工房
③ 2/18 （木）				奄美大島内泊　朝○　昼○　夕×
① 11/20 （金）	ホ　テ　ル　発		午前	＜テーマ：奄美の自然＞ ＊黒潮の森・マングローブパーク ＊奄美大島世界遺産センター
② 12/28 （月）			午後	直行便または鹿児島経由で羽田空港へ 到着後、解散（羽田空港到着18:15～21:30）
③ 2/19 （金）	奄美空港発 羽田空港着	航空便		朝○　昼○　夕×

※現地事情で見学日時・順序が入れ替わる可能性がございます。予めご了承ください



加計呂麻島（かけろまじま）

加計呂麻島は、奄美群島内の島で、鹿児島県大島郡瀬戸内町に属する。安脚場戦跡公園には、敷地内に多くの戦跡が残っており、アジア太平洋戦争時、旧海軍が使用した砲台跡、兵器や弾薬を保管するために作られた弾薬庫、天水貯水地と呼ばれる兵士の飲料水を確保するための貯水槽、防空のために使用された探照灯台跡、戦時中、大島海峡に潜水艦の侵入を防ぐために機雷などを設置した金子手崎防備衛所があります。

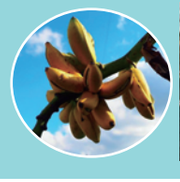
奄美群島

奄美群島は鹿児島と沖縄のほぼ中間の北緯28度に位置し、奄美大島から加計呂麻島、与路島、請島、喜界島、徳之島、沖永良部島、与論島までの8つの有人島を指します。総人口は約13万人、総面積は約1231平方キロメートルに及び、すべて鹿児島県に属しています。奄美群島の気候は、海洋性亜熱帯気候で温暖多雨です。年間平均気温は約20℃と暖かく、年降水量は約3,000㎜で日本では有数の多雨地帯です。

島の食

島の郷土料理のことを「シマジューリ」と言います。代表格の「鶏飯」はもともと薩摩藩の代官をもてなすための料理でしたが、今では家庭や給食などでも出てくる、老若男女に愛されるシマジューリに。ほかには豚足やウワンホネ（豚骨と野菜の煮物）など豚肉料理、ソーメンをいためた「油ソーメン」などが定番。魚介類では、刺身はもちろん、青さのから揚げやイカ墨汁（マダ汁）、貝などがよく食べられています。

徳之島でも、亜熱帯気候を生かしたサトウキビ栽培を中心として、馬鈴薯や里芋、マンゴーやビワ、メロン、タンカン、バナナ等の果樹園芸が盛んに行われています。





伝統産業

奄美大島を代表する産業といえば、まずは本場奄美大島紬。いくつもの工程を経て完成する絹織物は、島の自然が育んだ泥田で何度も染め抜く泥染めが特徴的。昭和40-50年代に島の成長を支えた大切な産業でもあります。また、サトウキビから作る黒糖が原料となる黒糖焼酎は、奄美群島でしか造を許可されておらず、大きな産業の一つとなっています。ほかには、養殖業が南部では盛んで、瀬戸内町の本マグロ養殖の生産量は日本一を誇ります。



奄美大島

離島において全国第3位の面積を誇る奄美群島の主島

奄美群島で一番大きな島（12.39平方キロメートル）で、本土と沖縄、両方の影響を受けながらも、独自の文化を持っています。北部は平たんな農地が多く、サトウキビの栽培などが盛んにおこなわれています。島の南部はほとんどが産地で、固有の生物が多く生息します。島独自の島唄や、黒糖焼酎、大島紬など、個性豊かな文化が特長です。

～南西諸島で進む自衛隊配備問題～

防衛省は、海洋進出を強める中国の動きを念頭に置いた南西諸島防衛強化の一環で、2019年春に、陸上自衛隊の駐屯地を開設し、奄美大島には警備部隊と地対空・地対艦ミサイル部隊が約560人配備されました。隊員やその家族が異動することにより住民税が増えるなど財政面・経済効果、災害時の支援に期待の声を上げる人がいる一方、「事前の住民説明会で十分な説明がなかった」「有事の際、攻撃対象として狙われる可能性がある」という不安の声も上がっており、ミサイル基地としての機能強化に向けた、戦争につながる自衛隊配備に反対する声を上げている人もいます。

実際、アジア太平洋戦争の末期、沖縄戦の後、奄美は本土防衛の最前線となり、古仁屋要塞司令部があった奄美大島の全島が米軍の攻撃目標となりました。古仁屋や名瀬など多くの集落で機銃掃射や空襲が繰り返され、島民に大きな被害を与えました。また、2021年7月には奄美大島は世界自然遺産に登録されましたが、世界遺産と自衛隊基地は共存できるのかという疑問の声も上がっています。

男はつらいよロケ地

第48作・寅次郎紅の花

2019年12月『男はつらいよ』50作目が上映され、再び、「寅さんの生き方」や映画が伝える時代・社会的な背景が注目を浴びています。1969年に第一作目が劇場で公開され、瞬く間にお茶の間の人気になりました。　第48作はシリーズの区切りとなる作品。マドンナ役で四度目となる浅丘ルリ子演じるリリーが登場。寅さんとリリー、甥の満男と泉の、二つの恋の行方が、幸福な気分のなかで描かれていきます。

田中一村記念美術館

田中一村記念美術館は、奄美の自然を描いた日本画家田中一村のコレクションを常設展示している美術館です。地元の素材をふんだんに使い、奄美の高倉をイメージした展示室には、一村の東京時代、千葉時代、奄美時代の作品約80点（年4回展示替え）を随時展示しており、日本画家田中一村の画業に触れることができます。

田中一村は明治41（1908）年、栃木県に生まれ幼少の頃から画才を発揮し、若くして南画家として知られます。しかし、18歳、東京美術学校に入学しますが2ケ月で中退。以後、中央画壇と一線を画し、50歳を過ぎて独り奄美へ移住。紬工場で染色工として働きながら絵を描き続けました。東京、千葉を経て、奄美の地で亜熱帯の鳥や自然を描き日本画の新境地を開きましたが、作品を発表することなく69歳の生涯を終えました。